

① 夏  
② 雲  
③ 晴  
れ

④ 新  
茶  
⑤ 台  
風

2  
1 A イ  
B ア  
C エ

2 ア・イ  
3 I え  
も  
の

※2 完答・順不同

II て  
き  
III く  
ろ  
う

4 ア 1  
イ 2

3  
1 I た  
ん  
じ  
II イ

III そ  
れ  
は

2 I ウ  
II ア  
3 エ

4 A ウ  
B イ  
5 ウ

配点	
①	各2点×5=10点
②~③	各5点×18=90点
<計>100点	

① 「夏」は二画目と三画目をつづけて書かないこと。また下の部分を「又」にしないようにする。② 「雲」はあめかんむりの形に気をつけよう。③ 「晴」は右下の「月」を「日」のように書くまちがいがよく見られる。④ 「新茶」は「新」を「親」としないこと。また「茶」の四画目と五画目をカタカナの「ハ」のようにしないこと。⑤ 「台風」は「颱風」とも書く。「大風」と書いてしまわないように気をつける。

②

1 A (A)の前では、鳥は空をとぶとあり、後では空をとべない鳥もいると書いてあることから考える。  
B (B)の前にある「とぶよりも、およいだり、走ったりするほうがつごうがよかった」ことの例が(B)の後に書いてあることから考える。  
C (C)の後からは「ニワトリ」に話題がかわっていることから考える。

2 「どちらも、体を空中にうかせるよりも、ほかのやりかたで生きてきたなかま」と書いてある。「ほかのやりかた」は本文3行目の「およいだり、走ったりする」ことだからペンギンとダチョウウが答えになる。すべてえらぶことに気をつけて答えなければならぬ。ニワトリについては、(C)の後で「ニワトリはどうだろう?」とあることから、ここではまだニワトリについてはふれられていないと考えられる。

3 I・II それぞれ何を問われているか、まずしっかり確認しよう。直前の一文「人間に飼われたニワトリは、自分でくろくしなくても、食べものももらえるし、てきからはまもられている」は「おいかけたり、にげたりしなくてもいい」との理由になっているので、「食べもの」を「おいかけ」、「てき」から「にげ」とわかる。これでIIの答えは「てき」になるが、Iの答えは「食べもの」だと三字以内という指定に合わないため、「食べもの」を三字以内で言いかえたことばをさがすと、本文4行目に「えもの」が見つかる。

III 「おいかけたり、にげたり」の後に「しなくてもいい」とあって、直前の一文にも「自分でくろくしなくても、食べものももらえるし、てきからはまもられている」とある。つまり「おいかけたり、にげたり」という「くろく」をしなくてもいいということである。

4 A 本文の終わりの四行から、ニワトリが、人間に飼われるようになってとべなくなってしまったことが読みとれる。  
I ペンギンのつばさは「小さくなった」のだし、ニワトリのつばさも「弱くな」ってしまっただけで、なくなってしまうわけではない。

③

1 I 本文(3―1)の9行目で「松崎エミ子のたんじょう会によればちやってね」と「ぼく」が言っている。プレゼントを用意していることもヒントになるだろう。通読時におさえておきたい。

II 「ぼく」が「すてきなセーターをきて」でかけていることや「べんり」な図書券をプレゼントしようとしていることからプラスの気持ちを読みとれる。

III 本文(3―2)の10行目で松崎エミ子が「坂本くんだけ、どうしても、よびたかったの」と言い、その後「それはね、きょう、あなたと将棋をして、三年二組の名人をきめたかったからよ」と言っている。登場人物の考えは会話から読みとれることが多い。

2 I 「ぼく」が「いいかげんなことをいって、ごまかそうと」していることから考える。松崎エミ子のたんじょう会によばれていることを江川くん知られたくないのである。  
II 江川くんは「ぼく」がよばれて、「いちばん近所」の自分がよばれていないことが気に入らないので「いまいまして」に「いったのである」。

3 ことわざや慣用語はその意味や使われ方も覚えておかなければならない。Aは「名人であっても、ときには失敗することがある」ということ。Iは「人の意見や忠告を聞き流すだけで、少しも受け入れようとしな」ということ。Uは「世の中は情けない人ばかりでなく、困ったときは助けてくれる情け深い人もいる」ということ。

4 A 「ぼく」との勝負に勝って「将棋名人」になった松崎エミ子の気持ちを考える。

B 「負けても、あんまり【B】くなかった」とあるので、【B】には、ふつう、負けたときの気持ちがいいると考えられる。

5 (3―2) 本文最後の行にある「三年二組将棋名人 松崎エミ子に決定!」を見て、みんなはとくいになっていた「ぼく」が松崎エミ子に負けたことを知ったのである。